

一般社団法人海部津島青年会議所 2022年度

J C NEWS 12



痛快無比
~面白きことの無き世を面白く~



一年間
ありがとうございました！



第60代理事長 平野伸弥

本年度、「痛快無比～面白きことの無き世を面白く～」のスローガンのもと活動してまいりました一般社団法人海部津島青年会議所は、皆様のおかげをもちまして2022年度の運動を無事に終えることができました。

本年度は創立60周年という我々にとって記念すべき年でありました。会員が40歳で卒業を迎える年で組織が変わっていく青年会議所において、60年もの永きに亘り地域のために運動を発信し続けるのは並大抵のことではありません。その中で歴史を紡いでごられた先輩諸兄姉やご協力を賜りました皆様へ敬意と感謝を示す記念式典を執り行い、2020年代運動方針～心躍る海部津島の創造～を示させていただいたことは幸甚に存じます。

また、人口減少と少子高齢化を見据え、地域に若者を呼び込むために開催した創立60周年記念事業JCデー（8月例会）「ASOBI BOOTH 2022～今日はとことん遊びつくせ～」では、産学官民を巻き込んだ運動発信を行いました。当日は多くの来場者で賑わい、参加された方々からは来年も参加したいという声をいただき、次年度以降のまちづくりにつながる運動となりました。

そして、誰もが活躍できる海部津島を目指し取り組んだ障害者雇用においては、4回の公開事業「ともにはたらく第一歩～障害者と共に生する～」と10月例会～「障がい者雇用」が地域の中小企業を強くする～を開催させていただき、地域に障害者雇用を生み出す運動発進をすることができました。

ご家族の皆様におかれましては、2022年度の活動に対し、メンバーを温かい目で見守ってくださり心より感謝申し上げます。家族との時間を削ってまで青年会議所活動をすることに疑問をもたれる方は少なくないと思います。そのような中でも理解をいただいている皆様の想いに応えられるよう、使った時間以上にメンバーが成長して家族や社業に還元できる体制を次年度以降も整えてまいります。引き続きのご理解をいただきたく存じます。

最後になりますが、メンバーの皆様と一緒に走り抜けられたことに改めて感謝申し上げます。自身が掲げた想いに沿ってメンバーが動くということは、光栄であるとともに自分次第でメンバーを振り回してしまう怖さもありました。しかしながら、メンバーの手によって掲げた想いが形になっていく光景は何にも代え難い経験になりました。力不足な理事長ではありましたが、メンバーの皆様の尽力のもと最高の一年を過ごさせていただきました。一年間誠にありがとうございました。

2022年度 新入会員紹介



新入会員の久保馨と申します。この度、ご縁を頂き海部津島青年会議所の一員として活動させて頂くことになりました。生まれ育った海部津島の地域へ恩返しをしたいと考えています。また自分自身も成長できるよう日々精進して参ります。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。



新入会員の桑原蓮と申します。例会にお誘い頂いたご縁がきっかけで青年会議所の活動を知りました。初めは興味本位にて参加しておりましたが、皆様の海部津島に対する熱い気持ちに触れ、私も共に活動していくないと強く思うようになりました。生まれ育った海部津島を盛り上げていくなかで、自らを成長させていくことが出来ますよう精進して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



新入会員の中川喜文と申します。この度、ご縁を頂き、海部津島青年会議所に入会させて頂きます。私達が立っているこの海部津島地域には、歴史文化、地域の先人の方々の思いが脈々と息づいています。地域への感謝をもって、そして子ども達がわくわく、生き生きと出来る様な、地域貢献が出来るように、今後、様々な事業を通じて、仲間と切磋琢磨し、自己研鑽を重ねて参ります。宜しくお願ひ申し上げます。



新入会員の佐々木亮と申します。この度、ご縁をいただき海部津島青年会議所に入会させて顶きました。私の生まれは海部津島地域ではございませんが、この地域の自然やその雰囲気に魅力を感じ、移り住むことにいたしました。そして、この地域をもっと良くしたい、もっと地域に貢献したいという思いが入会の1番の理由です。自己成長を図っていくとともに、地域やこの国のみに少しでもお役に立てられるよう精進して参りますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

賀詞交歓会（1月例会）



津島市文化会館にて賀詞交歓会を開催させていただきました。行政をはじめ、日頃お世話になっている方に新年のご挨拶と感謝をお伝えしました。理事長所信にて本年度の運動について力強く発信させていただきました。

創立60周年記念式典（4月例会）



創立からの歴史を振り返り、創立70周年に向けて運動方針を発表しました。会場内には現存する資料・議事録等を展示しました。過去10年間の運動は寸劇を交えて振り返り、2020年代運動方針～心躍る海部津島の創造～を発表させていただきました。

第18回わんぱく相撲海部津島場所（5月例会）



3年ぶりの開催となった第18回わんぱく相撲海部津島場所ですが、コロナ禍にもかかわらず90名を超える地域の小学生の皆様にご参加いただきました。また、本年度はパラスポーツのフライイングディスク体験も行いました。当日はボランティアとして、学生の皆様、障がい者グループの皆様、市民グループの皆様など多くの方々にご協力をいただきました。

わんぱく相撲愛知ブロック大会



第27回愛知ブロック大会、第2回わんぱく相撲女子愛知ブロック大会の主管をさせていただき、愛西市永和中学校にて開催しました。愛知ブロック大会にて勝ち抜いた子供たちは、東京都の両国国技館にて開催される男子全国大会、沖縄県浦添市で開催される女子全国大会にて優勝を目指し出場しました。

2022年度 活動報告

創立60周年記念事業JCデー（8月例会）ASOBI BOOTH 2022 ～今日はとことん遊びつくせ～



地元の高校生、大学生、地元企業の皆様に「遊び」をテーマにしたブースを出店していただき、市民の方へ無料開放させていただきました。当日は非常に多くの方々にご来場いただき、各ブースに行列ができるほど盛況ぶりでした。ステージでは、お笑い芸人のスギちゃんに会場を盛り上げていただき、一番楽しかったブースを投票で決めるブースグランプリを行いました。ブース出店をしていただいた皆様、協賛企業様、ボランティアの皆様、行政の皆様など、多くのご協力を賜り無事終えることができました。

西尾張異業種交流会



西尾張6青年会議所の合同事業として「西尾張異業種交流会」を主管させていただきました。JCメンバーと地域の経済人の総勢100名ほどが参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、懇親会は開催できませんでしたが、限られた時間の中でも交流を深めることができました。

2022年度 上半期対外事業



京都会議



名古屋会議



東海フォーラム(鳥羽市)



サマーコンファレンス

公開事業



障がい者の雇用創出に向けた公開事業を海部津島の各地で行いました。

大治町との防災協定



大治町及び大治町社会福祉協議会との防災協定を締結しました。災害発生時にはスムーズな連携が取れるよう務めてまいります。

西尾張合同例会（9月例会）



一般社団法人江南青年会議所様主管の基、すいとぴあ江南にて西尾張合同例会(9月例会)を開催しました。9月例会は式典の部と事業の部の2部制で構成されており、式典の部では、西尾張6青年会議所の次年度理事長による次年度の運動についての発表がありました。海部津島青年会議所からは飯田匡崇君が次年度理事長として発表を行いました。その後の事業の部では普段関わることのない人と交流を促すべく5つのチームに分かれてチャンバラ合戦を行いました。

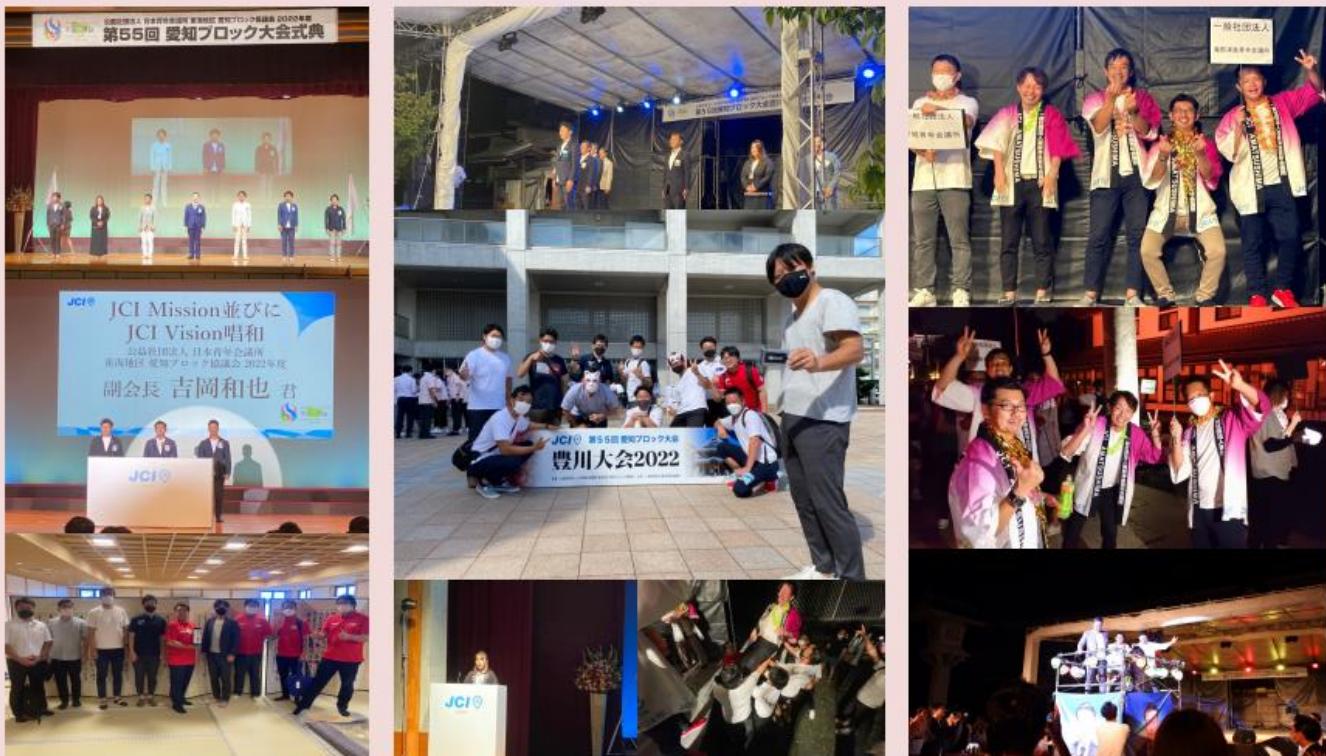
「障がい者雇用」が地域の中小企業を強くする（10月例会）



10月例会では、障がい者が中小企業の戦力になることを実感していただくために、障がい者雇用セミナーと障がい者向けの就職面接会を開催させて頂きました。

障がい者雇用セミナーでは有限会社 進工舎の田中誠様にご講演頂き、障がいをもつ人々が戦力となるための職場づくりについてお話を頂きました。就職面接会では、障がい者雇用の創出に繋げるため、障がいの方々には企業の説明を行い、企業様には障がいの方のやりたいことや、出来ることについて軽作業工才交えて対話をしていただき、職場実習につながるマッチング支援を行いました。

第55回愛知ブロック大会豊川大会



アカデミー閉校式



第71回全国大会おおいた大会



2022年度 特別議長・事務局長・委員長総括



加藤昌之

60周年特別会議特別議長

2022年度、60周年特別会議体の特別議長を務めさせていただきました加藤昌之と申します。まずは、4月3日(日)に開催させていただきました、海部津島青年会議所創立60周年記念式典におきまして、お忙しい中多くの皆様のご臨席を賜りましたこと改めて御礼申し上げさせていただきます。

創立60周年記念式典を執り行う、非常に重い担いではありましたが、各行政、関係諸団体、海部津島青年会議所の先輩諸氏の皆様、県内32青年会議所の同志の皆様、そして、海部津島青年会議所メンバーの温かいご支援とご協力があり、なんとか無事に大役を全うすることができました。本当にありがとうございました。

我々海部津島青年会議所は、次の10年に向けて新たな運動指針のもと活動を展開しております。皆様におかれましては、今後も変わらずのご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、特別議長の挨拶と代えさせていただきます。



高木伸也

まちの遊び創出委員会委員長

本年度は平野理事長より記念すべき60周年の委員長という大役をいただき、一年間邁進してまいりました。私は「まちの遊びを創出」をテーマに賀詞交歓会とJCデーを担当させていただきました。この一年、活動をする中で苦労や逃げ出したくなる場面も多々ありましたが地域の方々、メンバー、先輩諸氏、家族に支えられ何とかやり切ることができました。まさに委員長という立場でしか味わうことができない醍醐味を存分に感じることができた一年となりました。皆様のおかげで青年経済人として私自身大きく成長したと実感しております。結びとなりますが、本年度の活動にご協力をいただいた全ての皆様に感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



加藤大晴

インクルーシブソサイエティ構築委員会委員長

インクルーシブソサイエティ構築委員会は海部津島地域に障がい者雇用を創出・促進するために運動いたしました。1年を通し、本当に難しいテーマであると痛感しました。それと同時に良い可能性も大いに感じました。障がいをもつ方々のポテンシャルの高さや障がい者と接した中小企業の方のポジティブな反応がありました。私個人としては、来年以降もJCの枠を超えて障がい者雇用に関わっていきます。

そして、わんぱく相撲海部津島場所を3年ぶりに開催することができたことに加え、わんぱく相撲愛知ブロック大会を9年ぶりの主管として開催いたしました。前出の障がい者雇用に対する運動も含め、無事に例会や事業を終えられました。それも多くの方々に様々な形でご支援とご協力をいただいたからであります。1年間の感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



田島成剛

事務局長

2022度、事務局長を務めさせていただきました田島成剛です。この1年間事務局長職を預り本当にきつい1年間でした。自分にとっては経験のしたことがない苦手分野の役職でした。何度も何度もやめようと思いました。皆様の助けがあったからこそ、卒業を迎える事務局長職をできたと思います。結びとはなりますが、本年度の活動にご協力いただき、そして支えていただいた全ての皆様に感謝を申し上げ事務局長の挨拶と代えさせていただきます。

2022年度 卒業生インタビュー

Q1.青年会議所で一番の思い出は何ですか？

2016年、事務局長の年にJCI豊田の例会で安里繁信先輩の講演を聞いたこと。
JCに対する向き合い方、JCの社業への活かし方を学びました。
全ての責任我にあり、という言葉は全ての考え方の基になりました。
あの日がなければ今の自分と会社は無いと思っています。



吉岡 和也 君



永坂 規明 君

青年会議所に入会した1年目に、セクレタリーの役職受けた時の経験が大きな成長を与えてくれました。当時まだ起業して2年ほどの未熟な経営者でしたが、当時の先輩方に経営について学ばせていただき、人間として生き方や関わり方など多くのことを教えていただきました。飲食の世界しか見たことのない自分にとってその当時、青年会議所という団体がとても刺激的で魅力的な人ばかりでした。「卒業する時は、絶対にこんなかっこいい人間になりたい」と感じたのは今でも鮮明に記憶に残っています。



加藤 昌之 君

思い返してみると、委員長以上の役職を務めさせていただいた全ての時間が自分の中では強く心の中に残っています。それは、どの役職においても様々な気付きや学びがあり、また、その全てが今の自分自身を形成していると考えているからです。もちろん、2017年に委員長としてAWARD AICHIの最優秀賞をいただいたことなど、とても嬉しいことも様々ましたが、そのような事も、今の自分自身を形成している要因の一つだと思っています。そういった意味では役職を担い活動した全てが、記憶というか自分の中に深く刻まれている人生そのものであり、大切な宝ものだと思っています。



田島 成剛 君

青年会議所に入会させていただき、一番記憶に残っていることといえば、いくつかはありますが、やはり理事を受けさせていただいてからの2年間です。時間の使い方も変わり、グループのリーダーとして、どのようにすれば良いのか、どのようにすれば人はついてきてくれるのか、どのようにすれば皆をまとめれるのか、様々な学びを経験させていただきました。自分にとっては本当にきつい2年間でした。それでもなんとか乗り切れたのは、助けてくれた、メンバーがいるからです。自分にとって1番記憶にあり感謝していることです。



沖 尚也 君

今年(2022年)行われた60周年事業のJCデーです。世間は、未だ新型コロナウィルスによる制限を受ける中での開催。今までの常識が通じない新たな様式のもと、海部津島全域に交流する楽しみと地域への親しみを持って貰おうと計画された事業。20数名の青年会議所メンバーが一丸となって、行政、企業、学校を巻き込み、地域一体となることが表現でき、地域に発信する活動ができたと思っています。理事長をはじめ役員の皆さん、そして委員長とともに事業に携わることができ、嬉しく思うと同時に一生忘れない事業となりました。



Q2.青年会議所で得られたものがありますか？

多くの経営者の友人、腹の括り方と筋の通し方、組織づくりを学びました。委員長の年には、委員会メンバーにお願いする→委員会メンバーに迷惑をかけてしまう という意識を変えて、人にお願いすることでチームを作り、組織の生産性を上げるということを学ばせていただきました。出向により県内、日本全国に多くの経営者仲間ができたことも素晴らしい財産です。自分の会社の目指す規模により、出向先を決めるといい、という先輩からのアドバイスはJCに対する姿勢を教えてくれました。



吉岡 和也 君

奉仕、感謝、学び、修練、筋を通す。など数えきれませんが。1番得られて良かったことは、たくさんの仲間ができたことです。ブロックアカデミーから始まり、いろいろな地域や他業種の人など常に切磋琢磨できる環境であるJCは素晴らしいと感じます。卒業後は自分と出逢えて良かったと言ってもらえるような人間へと成長していきます。



永坂 規明 君

委員長、事務局長、副理事長等の青年会議所の役職を務めることを通して、何かを行うにあたり背景と目的を考える癖がついたのではないかと思っています。例会や事業を行うときはもちろんですが、仕事やプライベートの生活など、何か行動するときには必ず大なり小なり、今起きている現状の問題点(背景)と成すべき姿(目的)があり、それらが行動の原則となっているのだと気付くことができたことは、自分にとっての大きな成長につながったと思っています。



加藤 昌之 君

青年会議所で得られたものは、もちろん仲間です。青年会議所に入会しないければ、新たな仲間とは出会えていません。次に、誰かのため、人のために行動するです。地域のために思って行動している仲間のために動く、行動するということです。青年会議所に入会し、自分の時間をさき、人のために行動しているメンバーの姿を見て、自分自身、刺激を受けました。人のために行動しているメンバーに出会えたこと、その姿を背中で教えていただいたことは、自分にとってすごく刺激になり勉強になりました。



田島 成剛 君

得られたものは、たくさんありますが、その中でも特に感じることは、犠牲にすることなく活動に参加出来たことです。入会する前は、何かを犠牲にしないと出来ないと変な先入観があり、特に家族、時間、お金など余裕がないと活動できないと勝手に思い込んでいました。その不安も活動していく中で、すぐに薄まってきました。たとえ短い期間ではありましたが、とても有意義な時間を過ごせたと感じております。そして、何よりそれを後押ししたのが、メンバーの皆さんです。お互いを叱咤激励できる仲間に恵まれたことが一番です。



沖 尚也 君



Q3.青年会議所での学びを今後どのように活かしていきますか？

後輩たちから、困った時に声をかけてもらえる、頼ってもらえる存在でありたいと思います。JCで培ったネットワークを活かして社業を発展させるとともに、JCに使いすぎて裂けなかった時間を家族に費やします。



吉岡 和也 君

とにかく思ったことに挑戦していきます。現在の自分は、創業時ほどの「誰にも負けない」というモチベーションが薄れています。そんな自分の殻を再度ぶち壊して、チャレンジし続ける姿を現役メンバーに見ていただくことが大切だと感じます。おっさんになっても失敗を楽しみ、成長を楽しめる人間でい続けます。



永坂 規明 君

今後、会社の労務や業務における仕組みやルールの変更、明確化などを推し進めていこうと考えております。建設業という業界は旧態依然が強い業界であり、何かを変化させようとすると会社のなかでも混乱が起きることが予想されます。そのような不安定な状況のなかでも、常に何が良くなくて、何を成すべきのかを考え、目的を見失うことなく力強く行動に移していきたいと思っています。

また、自分の子どもにも、日々の生活の中で何がいけないのか、どのような状況（状態）になれば良いのか、じゃあそのために何をするべきかと問いかけ、自分自身で現状の問題、目的、解決策を考えられる主体性のある人間に成長するための、きっかけを与えられれば良いなと思っています。



加藤 昌之 君

青年会議所活動では、ここには書ききれない程の経験や学びをさせていただきました。自分が動かないと人はついてはきません。それは、社業においてもプライベートにおいても一緒です。自分自身が率先して行動するということを社業においてもプライベートにおいてもしっかりと行っていきたいです。



田島 成剛 君

まだまだ人生の半ばであり、この青年会議所での経験を活かす場面がこの先あると信じています。その際に、青年経済人としての振る舞いと地域への恩返しをしっかりやっていきたいです。また、目標とされる人物となり、影響力のある人として卒業後も、先輩方や後輩に頑張っている姿をみせていくぞと思います。最後になりますが、道中どうあれ最後に無事卒業できたことが一番の勲章であり、これからのお誇りになると思います。ありがとうございました。



沖 尚也 君



一般社団法人海部津島青年会議所では、一緒に活動する仲間を募集しています。

海部津島青年会議所について

1963年、社団法人一宮青年会議所をスポンサーとして、56名のこのまちを愛する青年により、津島青年会議所が創立されました。全国で、243番目の青年会議所として、この地に産声をあげたのです。メンバーの輪は、海部津島地域一円へと広がり、1978年に社団法人格を取得しました。1991年には、海部津島広域行政区での活動を踏まえ「社団法人津島青年会議所」から「社団法人海部津島青年会議所」へと名称変更を行いました。私たちの活動は、津島市のみならず、愛西市・あま市・弥富市・海部郡を含め、経済・社会及び文化等の向上をはかり、地域社会の発展及び国際親善に寄与することを目的に、明るい豊かなまちをつくることで恒久的な世界平和の実現を目指しています。「この地域・日本・世界をより暮らしやすい世の中にしたい」という志を持った20歳～40歳までの青年で組織する団体です。

青年会議所内の活動

- ・年6回以上の例会（2022年度は7回）
- ・毎月1回の委員会活動
- ・会員相互の親睦をはかる活動
- ・自己のスキルアップをはかるためのセミナーへの参加



青年会議所が地域で行う活動

- ・地域の未来を担う子どもたちの健全な育成を目的とした事業
- ・地域が抱える問題に対して未来を見据えた解決策の提案
- ・地域に必要とされる人財になるための資質向上を目的としたセミナーの企画運営



青年会議所内のメリット

- ・地元・全国・世界を問わずに多くの仲間と出会いのチャンスがあります
- ・JC活動を通じて共に努力することにより生涯の友ができるチャンスがあります
- ・一般社会では経験できない事にチャレンジできます
- ・様々な自己啓発トレーニングやJCならではのセミナーを体験することができます
- ・JC活動から組織運営のすばらしさと難しさを学ぶことができます



叶えられる未来がある。



さあ！JCしよう！

入会までの流れ



募集要項

募集対象

20代、30代の方で明るい豊かな社会を築きあげようとする青年を募集しています。

会費

入会金: 30,000円
年会費: 120,000円
(2022年度は随時入会のため、入会月によって年会費は変動します)

公式ホームページ SNSの紹介



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

賛助会員様（五十音順）

一般社団法人海部津島青年会議所の活動に御支援をいただいている企業・団体の皆様です。

愛知銀行津島支店
株式会社アイラブイット
株式会社浅井薬局
旭遠山株式会社
株式会社アバイル
いいなもっと株式会社
いちい信用金庫津島営業部
株式会社伊藤工務店
伊藤写真
永和温泉開発株式会社
株式会社エコプロモート
株式会社エフケイ
有限会社エール・プランシュ
株式会社大篠建設
株式会社大智建設
小関会計事務所
株式会社加東建設
カトウテキスタイル有限会社
株式会社加藤仏壇
カニエ防災株式会社
有限会社カネ銀
社会福祉法人神守福祉会神守こども園
株式会社木下電気工事
共同グラビヤ印刷株式会社
コスメスタジオノエビア新こがね営業所
株式会社コメリソ
サシヨシ工業株式会社
佐藤憲司税理士事務所
株式会社佐藤工務店
佐藤醸造株式会社
サワムラスタヂオ
有限会社三晃化成
有限会社サンメカトロパーティ
株式会社三和スクリーン銘板

三和テクノ株式会社
重明土建株式会社
有限会社しろやま典礼
株式会社清芳屋
セオ毛織株式会社
有限会社セレット
千花園
太陽不動産株式会社
津島商工会議所
株式会社東海イエス
有限会社富田製作所
株式会社トレードワン
長田広告株式会社
株式会社那須建築
西尾張シーエーティーヴィ株式会社
株式会社星野建築工房
株式会社マツモトカンパニー
合資会社まのや
株式会社丸幸自動車
株式会社丸昇
丸文建設株式会社
株式会社三輪工業
株式会社美和製作所
株式会社村上事務所
メインクラブ
矢田織物加工株式会社
学校法人山崎学園
山田土木株式会社
吉田建設株式会社
株式会社義津屋
株式会社綿新商店